平成３１年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立陽西中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには，学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があり，その上で，家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから，平成３１年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について，以下のとおり公表します。

また，調査結果は，学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので，調査結果の分析，指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1　目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2　調査期日

平成31年4月18日(木)

3　調査対象

小学校　第６学年（国語，算数，児童質問紙）

中学校　第３学年（国語，数学，英語，生徒質問紙）

4　本校の参加状況

① 国語　208 人

② 数学　208 人

③ 英語　208 人

5　留意事項

(1)　本調査は，対象となる学年が限られており,実施教科が国語，数学，英語の３教科のみであることや，必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから，本調査の結果については，児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。

(2)　本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

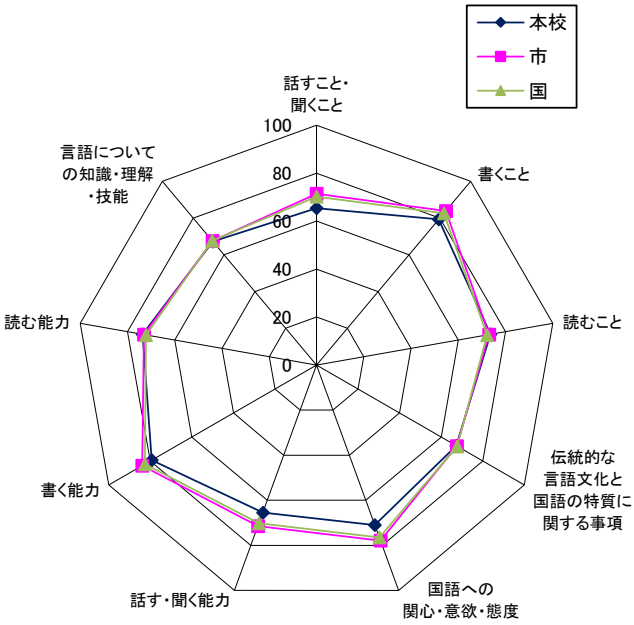
(3)　平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため，「本年度の状況」，「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立陽西中学校第３学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	65.4	71.4	70.2
	書くこと	79.3	83.9	82.6
	読むこと	73.6	73.0	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.3	67.5	67.7
観点	国語への関心・意欲・態度	71.0	77.9	76.5
	話す・聞く能力	65.4	71.4	70.2
	書く能力	79.3	83.9	82.6
	読む能力	73.6	73.0	72.2
	言語についての知識・理解・技能	67.3	67.5	67.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

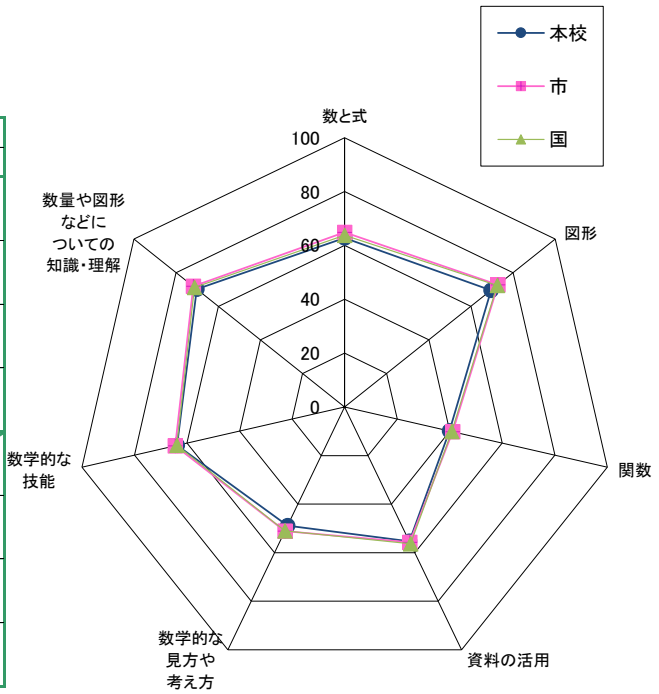
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は，全国平均より4.8ポイント低い。 ●話し合いの流れを踏まえ,「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く設問では，正答率が60%を下回っている。また，無回答率見も15.9%と，他の設問に比べて高い。話し合いの流れを踏まえたり,自分の意見を書いたりすることに課題がある。	今後も，授業において,自分の意見を相手にしっかりと伝えることや話し手の話の流れや意図をくみ取ることなどを身につけさせる。また日常生活においても,集会や校内放送等、話を集中して正確に聞き取ることを意識させる。また，話し合い活動においては自分の考え書かせる活動を多く取り入れ,力をつけさせる。
書くこと	平均正答率は，全国平均より3.3ポイント低い。 ●意見文の下書きに加える言葉として適切なものを選択する設問では，正答率は80%を超えたものの，全国平均を4.2ポイント下回った。	意見文等を書く際,「,自分の立場を明確にし，その根拠を具体的に書く」また,「型や具体例を示し取り組みやすくする」ということについては，継続して指導を続けていく。今後は，短い感想等を含め,「書くこと」の学習を増やし,「書くこと」への抵抗を減らし,さらに書く力を高めていく。
読むこと	平均正答率は，全国平均より1.4ポイン高い。 ○文章の構成や展開,表現の仕方について,根拠を明確にして自分の考えをもつという設問において正答率が70%を超え，無回答率も1.0%であり，良好な状況が見られる。 ●文章に表れているものの見方や考え方について，自分の考えをもつという設問では，正答率は86.1%であったものの，全国平均を5.1ポイント下回った。	説明的文章においては,要点をまとめたり,構成を捉えたりし筆者の主張や論の展開を読み取る学習を継続していく。その際,指示語や接続する語に注意させ,正確に要旨を捉える力を身につけさせる。また文学的文章においては,詩歌なども含め,表現の特徴にも着目させ,「読むこと」の楽しさにも触れながら読解力を育てていく。さらに,語彙を増やし自分の感じたこと,考えたことなどを自分の言葉で豊かに表現できる力を養う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は，全国平均より0.4ポイント低い。 ○話の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択するという設問において正答率が80%を超え，良好な状況が見られる。また,全国平均より1.6ポイン高い。 ●封筒の書き方（投稿先への宛名と住所を書く）という設問では，正答率は50.%を超えたものの，全国平均を2．5ポイント下回った。	今後も，漢字の学習を継続し，定期的に確認テストを行って定着を図る。文法については，練習問題で確認することを心がけ，補助教材を活用して類題に取り組ませる。敬語については，日常生活で活用することを通してさらに定着できるよう指導していく。

宇都宮市立陽西中学校第３学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	62.8	64.9	63.8
	図形	69.5	72.8	72.4
	関数	39.9	41.1	40.8
	資料の活用	55.3	55.7	56.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	48.8	51.1	51.0
	数学的な技能	63.8	64.5	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	70.2	71.9	71.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

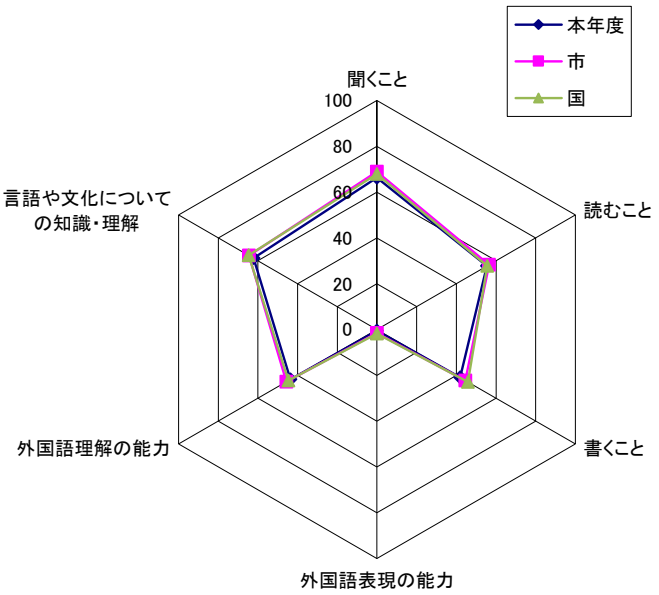
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は，全国平均より1.0ポイント低い。 ○「得られた数学的な結果を事象に即して解釈すること」では，全国平均を1.6ポイント上回っている。 ●「簡単な連立方程式を解くこと」では，全国平均を4.7ポイント下回っており，無解答率も10.1ポイントである。また，「事柄が成り立つ理由を説明すること」では25.0ポイントもの無解答があった。	・基本的な計算力の定着のため，計算テストを行い，正確さを高めていく。 ・数の性質の証明については，パターンを確実に定着させ，正確に証明できるよう練習の機会を増やしていく。
図形	平均正答率は，全国平均より2.9ポイント低い。 ○「平行移動の意味を理解している」では，全国平均を1.5ポイント上回っている。 ●「三角形の合同条件の理解」では2.7ポイント，「反例の意味」の理解では6.0ポイント，「結論が成り立つための前提を考え，新たな事柄を見いだし，説明をすること」では4.7ポイント，全国平均を下回っている。	・図形についての定義や定理，性質などの基本的な学習内容を丁寧に指導し，より確実な定着を図っていく。また，基礎を確実にすることで，発展につなげていく。 ・教材・教具を工夫し，具体物を多く取り入れて，イメージしやすくし，理解を深めていく。
関数	平均正答率は，全国平均より0.9ポイント低い。 ○「反比例の表から式を求める」では，全国平均を4.5ポイント上回った。 ●「グラフ上の座標の差を，事象に即して解釈すること」では，全国平均を6.1ポイント下回った。また，「反比例の表から式を求める」では16.8ポイントもの無解答があった。	・関数を「表」「式」「グラフ」にそれぞれ表すことを関連付けて，丁寧に指導し，確実に定着させる。
資料の活用	平均正答率は，全国平均より1.0ポイント低い。 ○「問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断すること」については，全国平均を5.1ポイント上回っている。 ●「ヒストグラムの特徴を基に説明をすること」では，全国平均より8.1ポイントも下回っている。	・資料の活用に関しては，何を調べたいのか，どの方法で調べるのかを明確にし，その理由を説明する活動を通して理解を深めていく。 ・ヒストグラムについては，図に表すことだけでなく，どのような傾向があるのかを考えさせる活動を通して，理解を深めていく。

宇都宮市立陽西中学校第３学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【英語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	聞くこと	66.3	68.9	67.9
	話すこと			
	読むこと	55.4	56.5	55.6
	書くこと	41.9	44.6	45.8
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度			
	外国語表現の能力	0.5	1.5	1.8
	外国語理解の能力	43.6	45.6	44.7
	言語や文化についての知識・理解	62.2	64.5	64.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は全国平均より1．6ポイント低い。 ○会話を聞いてその内容を最も適切に表している絵を選択する問題の中には，全国平均を4．1ポイント上回る正答率問題があった。またメッセージを聞いてそれに対するアドバイスを書く問題では，十分理解できる英語で回答しているものが全国平均を0．7ポイント上回っていた。 ●聞くことの問題7問中，5問において全国平均を下回っており，特にスピーチを聞いた後，話の展開に合わせて示す絵を並び替える問題では正答率は全国平均より6．9ポイント下回っていた。	・生徒が英語を聞く機会を多く確保するため，今後も教師の授業中の英語使用量を増やしていくようにする。また，ALTをより活用し，まとまった量の英文を聞く機会を多くしていく。 ・授業以外でも生徒が英語に触れる機会を多くできるように，授業中に学習方法や教材を紹介する。
話すこと		
読むこと	平均正答率は全国平均より1．2ポイント低い。 ○説明文とその前後にある対話を読んで，書き手が最も伝えたい内容を選択する問題では，正答率が全国平均を7．1ポイント上回っている。 ●発表活動のためにまとめられた文章を読んで最も適切なスライドを選ぶ問題では，正答率が3．8ポイント下回っている。また，食糧問題について書かれた資料を読んで自分の考えを書く問題では，無回答率が32．7%と全国平均より4．8ポイント高い。	・長文の内容によって，正答率に大きな差が出ているので，幅広い内容に対応できるよう，語彙力をつけられるような指導を継続する。また，易しく短い文章を数多く読む機会を設けることで，英語の文章への抵抗を少なくしていく。
書くこと	平均正答率は全国平均より3．9ポイント低い。 ●すべての問題において無回答の割合が全国平均より5ポイント以上高く，10．4ポイント上回る問題もあった。ほとんどの問題で正答率も全国平均を下回っており，7．1ポイント下回る問題もあった。	・無回答の生徒の割合が高く，英語を書くことへの抵抗感が強い生徒が多いことがうかがえるので，英語で書く機会を多く設けるようにする。基本文を反射的に日本語から英語にするトレーニングを積むことで，日本語の構造につられることなく，英文が作れる素地を作り，それを応用して自分が表現したいことを英語で書けるように訓練していく。

宇都宮市立陽西中学校 第３学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

○「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に対して肯定回答７９％，「難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか」に対しては78.6%となっており全国平均を７～８ポイントほど上回っている。これからも目標をもって取り組む場を設定し，達成感を感じられるような行事や生徒会活動などに進んで取り組ませる。
○「学校の授業以外に，１日どれくらいの時間，勉強していますか」の質問に対して2時間以上と回答した生徒の割合は41．９％で5ポイント以上全国平均を上回っている。また，「家で，自分で計画を立てて勉強していますか」に対しても肯定回答が60．5％で全国の平均を10ポイントほど上回っている。学習サポートなど学習機会の提供など，引き続き自主学習に取り組むように指導していく。
○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して肯定回答は35．７％と全国平均の50．６％を下回っているものの，「地域や社会を良くするためになのをするべきかを考えることがありますか」に対する肯定回答は55．７％と全国平均よりも１５ポイント以上高い。地域との関わりがうすいことは否めないが社会に対する関心は高いことを示している。今後もボランティア活動等の地域行事に進んで参加するような指導が必要と思われる。

●「朝食を毎日食べていますか」では「している」が県全体や全国の平均よりも３～５ポイント低く，「毎日同じ時刻に寝ていますか」「同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対し，肯定的割合が，どちらも県平均より低いことなどから，生活習慣の乱れが懸念される結果となった。
今後も，生活習慣の確立の重要性について，継続的に指導していく必要がある。

宇都宮市立陽西中学校（第３学年）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で，重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め，学力向上を目指した指導の充実	今年度も，基礎学力の定着を図るため，帰りの会終了後の10分間，「陽西タイム」としドリル学習を実施している。 「学力向上の日」となる水曜日の放課後には，「レベルアップ学習」として1時間程度，希望者に対して「学習する場」の提供も継続している。 夏季休業中には7日間の「学習サポート」を実施し，1教科で複数コースの設定をするなど生徒の学力に配慮し全校体制で指導に当たった。 また，希望者を対象に，地域協議会と学校の共催で月に2回程度「土曜学習サポート」を実施している。 全職員共通理解のもと，「対話」を意識した授業づくりなど共通課題に則した公開授業の実施や職員研修の充実を図り，教員一人一人が日々，授業力の向上に努めている。	「国語の勉強は大切だと思うか」には，９５．７%の生徒が，同様の質問に数学では89．５%，英語では83．８%の生徒が肯定的な回答をしている。 「先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かりまで教えてくれていると思うか」には，９割近くの生徒が肯定的な回答であり，全国の平均を4ポイント以上上回っている。 「１，２年生のときに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思うか」には，７０%の生徒が肯定的に回答し，県の平均を10ポイント近く上回っている。「国語の授業で自分の考えを話したり，書いたりするとき，うまく伝わるように根拠を示したりするなど，話や文章の組立てを工夫しているか」には，　７５．２%の生徒が肯定的に回答し，県の平均を7ポイント以上上回っている。 継続して「対話」を意識した授業づくりを心がけ，きめ細やかな指導を積み重ねてきた成果が表れてきたといえる。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	陽西地域学校園（小中共通）で作成した『家庭学習の手引き』に沿って，年度初めに資料を全生徒に配付し，家庭学習の仕方・自主学習ノートの取組について徹底を図った。自主学習ノートを毎日提出させ，指導に生かしている。	「学校の授業時間以外に，普段（平日）１日当たりどれくらいの時間勉強をするか」の質問に2時間以上と回答をした生徒は４１．９%おり，平均を5ポイント近く上回っている。小中共通で資料を作り、家庭学習の習慣化に努めた成果が徐々に表れてきたが，さらに徹底できるよう指導を継続していく。